

（1）PDCA 評価に基づく25年度予算案への反映状況

【第1回検討会での主な意見】
 ○配水管更新事業は非常に重要なので、積極的に推進して欲しい。（番号1）
 ○アクアフレッシュ事業は子供の健康に直結するので、是非、推進して欲しい。（番号2）
 ○地震が少ないということですが、危機管理が疎かにならないようにして欲しい。（番号3）

【局内での主な見直し】
★強化
 ○配水管更新事業において、更新計画の見直しを行い、漏水事故防止の強化を図る。（番号1）
 ○送水系統2条化によるバックアップ機能強化の前倒し実施など地震等対策推進事業の強化を図る。（番号3）
 ○太陽光発電の設置において、再生可能エネルギー買取制度に合わせ、発電規模の見直しを行う。（番号4）
 また、マイクロ水力発電を導入する。
 ○有収率向上対策において、老朽給水管取替の基準見直しを行い、有収率向上を図る。（番号5）
★コスト削減
 ○浄水施設の耐震化において、耐震診断方法や設計の工夫によるコスト削減を行う。（番号3）
 ○小規模貯水槽水道の管理指導において、指導方法の見直しによるコスト削減を行う。（番号6）

■意見や見直しを踏まえた事業

番号	事業名	平成25年度予算案	
		予算額 ()内前年度比	取組内容
1	経年劣化の著しい施設の更新 (老朽管更新事業)	3,800,000千円 (800,000千円増)	・配水管更新延長を50km/年から62km/年にペースアップし、漏水事故防止の強化
2	アクアフレッシュ事業	35,000千円 (3,000千円減)	・計画どおり、教育委員会へ直結式給水への助成(20校)を行い、着実な事業実施
3	水道の地震等対策推進事業	1,271,487千円 (151,774千円増)	・送水系統の2条化(門司区小森江など)によるバックアップ機能強化の前倒し実施など地震対策を強化 ・一方、浄水施設の耐震診断方法等を見直し、165,000千円のコスト削減
4	自然エネルギーの活用	100,000千円 (80,000千円増)	・太陽光発電の発電規模を10kwから25kwに見直し配水池などへ2箇所設置 ・マイクロ水力発電の導入(1箇所)
5	漏水調査の強化 (有収率向上対策)	211,180千円 (59,180千円増)	・将来、漏水可能性が高い、老朽給水管取替を拡大(200件→1,000件)し、有収率向上 ・簡易漏水調査、成果主義の漏水調査実施
6	小規模貯水槽水道の適正管理に関する指導	26,000千円 (5,000千円減)	・現地簡易検査内容の見直しにより、委託費のコスト削減を実施し、計画どおり、1,600件/年の指導実施

（2）平成25年度上下水道局経営方針

【水道事業】

近年の人口の減少や節水機器の普及などによる水需要の減少に伴い、料金収入の減少傾向が続くなど、厳しい経営状況が見込まれるなか、「北九州市水道事業検討会」における外部の評価・助言や局内での見直しを踏まえ、着実に事業を推進していきます。

特に、漏水事故防止に向けた計画的な老朽管更新事業を実施するとともに、水道施設の耐震化やバックアップ機能強化などの地震対策も前倒しで行っていきます。また、海外事業の展開や自然エネルギーの活用などにも積極的に取り組みます。

事業の前倒しなどにより増加する整備事業費の財源には、これまでに蓄えてきた資金を約10.1億円活用する予定です。

一方で、経営改善にも引き続き取り組み、収益的収支で5.7億円程度の黒字を確保し、積極的な事業展開と健全経営の維持を両立していきます。

（3）収支比較

(単位：百万円)

区分	H24 予算(A)	H25 予算案(B)	差引(B)-(A)
収入	18,517	18,566	49
うち料金収入	15,805	15,839	34
支出	17,942	17,994	52
収益的収支	575	572	△3
収入	4,539	4,876	337
うち企業債	3,560	3,463	△97
うち基金収入	7	407	400
支出	12,539	13,233	694
うち施設整備費	6,958	7,751	793
うち企業債償還金	3,635	3,474	△161
資本的収支①	△8,000	△8,357	△357
補填財源②	7,753	7,744	△9
単年度資金剰余①+②	△247	△613	△366
累積資金剰余③	5,165	4,552	△613
建設改良基金残高④	1,969	1,576	△393
資金合計③+④	7,134	6,128	△1,006
企業債残高(比副緊急事業除く)	58,761	58,751	△10

◆重点的に取り組みを行う主なもの

「中期（後期）経営計画」に掲げた主要事業に着実に取り組み、推進します。

（1）いつでも安定して供給できる水道

自然災害や老朽化による漏水事故を未然に防ぐ対策として、経年劣化した水道施設の更新や耐震化を実施するとともに、これらが発生した場合でも安定した給水体制を確保するため、バックアップ機能の強化などに取り組みます。

【番号1】

■経年劣化の著しい施設の更新（老朽管更新事業）

4,752,200千円
（うち拡充分857,200千円）

経年劣化が進んでいる配水管・導送水管を計画的に更新するとともに、重要な管路の耐震化を推進します。なお、更新延長を年50kmから年62kmへ前倒し実施することにより、平成32年度までに老朽配水管（昭和47年以前の鑄鉄管）の更新を終了します。

- ・配水管更新 L=62km 3,800,000千円
- ・導送水管更新 L=3,080m 952,200千円

【番号3】

■水道の地震等対策推進事業

1,271,487千円
（うち拡充分151,774千円）

地震による漏水事故を未然に防ぐ対策として、耐震化を計画的に実施するとともに、地震等災害の発生時でも安定した給水体制を確保するため、送水管2条化整備などによるバックアップ機能の強化にも取り組みます。

- ・地震対策推進事業 745,487千円
浄水施設や配水池の耐震化工事、貯水池の耐震診断 など
- ・バックアップ機能の強化対策 475,000千円
小森江系送水管 L=1,490m など
- ・災害対策整備事業 51,000千円
伊佐座導水路線法面整備工事 など

■水道施設再構築プランの策定

975千円

広域化の検討状況や世界的な水不足問題などを視野に入れた将来の水需要に見合う施設規模にするため、検討を進めます。

（2）お客さまが安心しておいしく飲める水道

さらに安全でおいしい水をお届けできるよう、水質の向上に取り組みます。

■遠賀川の水質改善対策

14,600千円

遠賀川流域の水質・環境の改善を図ることを目的とする住民団体等による環境保全活動などに対して支援を実施します。また、主要水源である遠賀川の水質改善対策の一環として、頓田貯水池の水質改善対策を推進します。

■残留塩素低減化対策

10,000千円

浄水場での塩素注入削減や配水池などでの追加塩素方式を組み合わせた残留塩素の低減化対策を井手浦浄水場の給水エリアで実施します。
・井手浦浄水場の実施設計 など

（3）環境未来都市を推進する水道

低炭素社会の実現のため、エネルギー消費や環境負荷の少ない事業運営を目指します。

【番号4】

■自然エネルギーの活用

100,000千円
（うち拡充分80,000千円）

配水池に太陽光発電設備を設置、配水池間の水位差やポンプ送水における余剰圧力を利用した水力発電を設置し、再生可能エネルギーの活用によりCO2の削減を図ります。

- ・太陽光発電設備設置 2箇所 40,000千円
- ・マイクロ水力発電設備設置 1箇所 60,000千円

■省エネルギー対策整備事業

225,000千円
（うち拡充分109,000千円）

送水ポンプの適正化や配水ブロックの改善により、エネルギーロスを減らし消費電力の削減を図ります。

- ・送水ポンプ等更新工事 など

（4）世界・地域に貢献する水道

新たな広域連携を推進するとともに、本市の培ってきた環境技術・運営ノウハウを活かし国際貢献に寄与します。

■水道事業の広域化

29,139千円
（うち拡充分14,344千円）

新たな広域連携を推進するため、周辺地域を「宗像地域」「遠賀川流域地域」「市南部地域」「市東部地域」の4ブロックに分けて、関係機関等との広域連携の検討などを進めます。

- ・香春町施設整備実施設計 など

■海外事業の展開

101,157千円
（うち拡充分32,717千円）

カンボジア、ベトナム・ハイフォン市、中国・大連市等において、技術協力・人材育成に貢献するとともに、海外水ビジネスの具体的な案件形成に向けた取り組みを着実に推進します。